

水都大阪を象徴するように水辺に向かって建つ
スパニッシュ様式のビル

ルポンドシエルビル [大林組旧本店]



浪花三大橋のひとつ、天神橋の南詰めに建つスクラッチタイルのシックな近代建築は、1892年に大阪で創業した大手建設会社、大林組の旧本店ビル。設計に際しては社内コンペを実施して、当時アメリカで流行していたスパニッシュ様式の案を採用した。2007年の耐震補強工事を経て、1973年に建てた超高層の本店ビルにあったフレンチ、「ルポンドシエル」が移転してきた。「ルポンドシエル」とは「天架ける橋」の意、天神橋にあやかった店名だ。(高岡伸一)

旧 称：大林組本店ビル
所在地：大阪市中央区北浜東 6-9
建設年：1926年
構造・規模：RC造6階、地下1階
設 計：大林組（小田島平吉、外観デザイン：平松英彦）